

専門ゼミ A		演習	准教授 黒沢 賢一	
科目カテゴリー	スポーツマネジメントコースの必修科目、スポーツトレーナーコースの必修科目	科目ナンバリング	11130301	

1. テーマ

警察官、消防官、市町村職員などの公務員試験に合格するために必要な知識の分析・習得とそれぞれが受験する地域の特性とまちづくり研究。

2. ゼミのねらい・概要

警察官採用試験は都道府県単位で、消防官採用試験と市町村職員採用試験は市町村単位で行われる。本ゼミでは警察官、消防官、市町村職員をめざす学生を対象として、それぞれの試験に合格するために必要な知識を身につけさせ、同時にゼミ生一人ひとりがめざす試験が行われる都道府県、市町村にはどのような特色があり、またそこではどのようなまちづくり、地域づくりが行われているかを政治学、行政学、地方自治の専門的知識をもとに考察、分析していく。

3. ゼミ計画

1. ガイダンス（授業予定、注意事項）	9. 公務員試験分析 7（操作・手順）
2. 公務員試験分析 1（順序関係）	10. 公務員試験分析 8（図形の分割・構成）
3. 公務員試験分析 2（位置関係）	11. 公務員試験分析 9（軌跡と移動）
4. 公務員試験分析 3（対応関係）	12. 公務員試験分析 10（立体図形）
5. 公務員試験分析 4（推理）	13. 公務員試験分析 11（展開図）
6. 公務員試験分析 5（命題と論理・集合算）	14. まちづくり研究②（研究テーマの決定）
7. 公務員試験分析 6（真偽・暗号）	15. まとめ講義（前期の総括と後期予定）
8. まちづくり研究①（研究対象地域の決定と研究手法）	

※このほか社会科学分野の公務員試験に出題されるポイントも解説する。

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

警察官、消防官、市町村職員採用試験に合格するためには、毎日、勉強することが求められる。ゼミで紹介された知識や問題を復習し、その類題を解くためには最低でも毎回 2 時間は必要になる。このほか指定された教材を自力で解いていかなければならず、それぞれが選んだ地域のまちづくり研究のための時間も必要になる。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

確認テスト、課題ノート、提出課題の返却時に講評し、評価のポイントや改善点などを指摘する。

6. ゼミにおける学修の到達目標

警察官、消防官、市町村職員などの公務員試験の仕組みを理解し、それぞれの試験に合格するために必要な知識を身につけ、ゼミ生が合格をめざす地域の特性やまちづくりの特色がわかるようになる。

7. 成績評価の方法・基準

授業内で実施する確認テスト(50%)と課題ノート・提出課題の内容(50%)によって評価する。

8. テキスト・参考文献

- (1) 黒沢賢一著『Point Master 社会科学の論点』（三恵社） 毎回使用するので必ず持参すること。
- (2) 公務員試験分析についてはプリントを配布する。必要になる受験教材は随時紹介する。
- (3) まちづくり研究については、ゼミ生それぞれの研究対象地域に合わせて個別に紹介する。

9. 受講上の留意事項

本ゼミは警察官、消防官、市町村職員などをめざす学生を対象とする。

ゼミ中の私語やスマートフォン、イヤホン等の使用は認めない。

他のゼミ生に迷惑となる教室内の秩序を乱す行為については、厳しい態度で臨むので十分注意すること。

ゼミ生には何よりも自主的に学ぶ姿勢が求められる。また公務員試験合格を確実にしたいという方には、「社会科学の基礎A」「公務員試験対策ゼミA」も受講することをすすめる。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。本ゼミは、地方議会における実務経験(市議会議員)を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。